

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば

2017.5
第189号



「平成29年度 入学式」

4月11日、当校講堂にて保護者の皆様やたくさんのご来賓の方々のご臨席のもと、平成29年度入学式が行われました。式では新入生1人1人の名前が読み上げられ、藤哲学校長から1学年40名の入学が許可されました。

藤哲学校長の式辞と在校生のお祝いのことばに続き、新入生を代表して松山月妃さんが、「看護学生として勉学に励むことを誓います。」と、誓いのことばを述べました。入学式を終えた学生に対し、看護の道を志したことに感謝するとともに、「ようこそ看護の世界へ」と歓迎の気持ちになりました。

今年度の新入生には社会人経験の学生が4名、男子学生が4名おり、若さと活気に満ちた明るいクラスです。クラス目標の「不撓不屈（どんな困難に出合ってもひるまずくじけないこと）」からも諦めず最後まで頑張る意志が伝わってきました。

これから3年間の学校生活の中で、看護師に必要な知識・技術と社会人としての態度を身につけ、患者さんのために一生懸命になれる看護師に成長して欲しいと思います。

看護学校教員：渡辺 玲



平成29年度インターンシップ・病院見学会 開催

4月22日助産師・看護師として当院への就職を考えている学生を対象に弘前病院では初めてインターンシップと病院見学会を開催しました。

インターンシップは7名の参加があり、母子医療センターで、赤ちゃんの沐浴や抱っこ体験、授乳指導やNICUの見学を行いました。質問コーナーでは、「印象に残っている場面」や「助産師を志した理由」などの質問があり、実際に働く助産師との語らいの場で目を輝かせていました。午後の病院見学会は11名の参加があり、各病棟の看護師が

自分たちの病棟の紹介を行いました。いずれも、現場の雰囲気を感じ、実際に働くスタッフの声を聞くことができ、参加者は、今後の就職に向けてのイメージづくりができた様子でした。

この活動を通して、弘前病院へ興味を持ち、就職を希望する学生が増えるよう、今後も続けていきたいと考えております。また、学生にも患者様にも選ばれる看護を日々提供していきたいと考えております。

母子医療センター 看護師長：長尾 愛佳



北海道東北グループ主催看護職員採用説明会に参加して

4月15日（土）仙台国際センターで、北海道東北グループ主催看護職員採用説明会が開催され、添田看護師長、前田副看護師長、母子センター戸奈々助産師、4階病棟中村那都子看護師、6階病棟升田華奈子看護師の5名と共に参加しました。午前中の看護学生フォーラムでは看護学生のユーモア溢れるプレゼンから日頃の学生の思いに触れ、実習受け入れ施設の指導体制を整えることは、これからの看護職員確保に大きく影響することを改めて実感しました。

私達参加者は、当院の紹介、ブース説明では、弘前病院が大事にしている医療、看護を心を込めて伝え、将来、一緒に医療を担う仲間となる看護

学生へのエールを送り、人に優しい病院であることを感じ取ってもらおうという気持ちで臨みました。

「一緒に働きましょう。待ってるはんで」メッセージを背にし、弘前訛りも時々まじえながら総勢91名の学生さんに「Welcome 弘前病院」を伝えることができました。

参加した5名はじめ、この説明会の準備に色々な趣向を凝らし取り組んできた職員が当院の良いところを表現して人に伝えること、人を迎える姿勢を意識しながら、一緒に取り組むことができたことがとても嬉しく、これからの当院の前進に繋がっていきたいと思います。

看護部長：高橋 香



マイナビレジデントに参加して

研修医二年目の樋口です。私は4月22日(土)、宮城県仙台市 AER で行われたマイナビ主催の病院説明会に参加しました。当院からは4名のスタッフが参加しました。当日の仙台市はもう桜が散り始めており穏やかな暖かさでした。会場には東北大学の医学生を中心に東北地方の医学生が足を運んでいました。各病院の臨床研修担当医師や研修医が多く参加し会場は賑やかでした。

当院のブースには弘前大学だけでなく県外の大学からも見学に来ており、熱心に研修先を考えて

いました。私たちは当院初期研修の特徴として当院の研修概要に加え、プライマリケア、指導医とのマンツーマン体制での研修、手技経験の豊富さなどを中心に説明しました。私は弘前病院での研修は2年目になるので、去年度の研修を振り返りながら具体的な弘前病院と弘前の魅力を説明できたと思います。

今回の説明会で弘前病院での研修に興味を持った方々が実際に病院見学に来てくれることを願います。

初期臨床研修医：樋口 直樹



研修医便り

初期臨床研修医 1年目の橋本卓也と申します。栃木県出身の26歳です。初期研修のスタートは消化器内科で3か月間研修をさせていただくことになりました。石黒臨床研究部長の指導の下、毎日充実した日々を過ごしております。

国家試験に合格し晴れて研修医として憧れの臨床の現場に立つことができました。しかし、病棟管理や新患対応などで自分自身の知識不足もあり、頭が混乱してしまったり、ルート確保、血ガス、CV挿入などの実践的な手技が上手いかなかったりと、日々勉強であると感じています。周りにいる病棟や外来のスタッフの方や、上級医の先生方に助けられながらとても多くのことを教えて頂き、なんと

かくらいつきながら頑張っております。一日でも早く、戦力になれるように頑張っていきたいと思います。まだまだ分からないことだらけであり、たくさんご迷惑をおかけすると思いますが一生懸命やっっていこうと思いますのでご指導よろしくお願ひします。

初期臨床研修医：橋本 卓也



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2017年5月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		下山亜矢子	森本武史	森本武史	—	森本武史
		—	石岡佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木明彦	佐竹立	佐竹立	松木明彦	佐竹立
		山口公平	山口公平	松木明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	飯野勢	佐藤年信	佐竹美和	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	飯野勢	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		佐藤啓	岡本剛	弘野浩司	岡本剛	弘野浩司
		梅津英典	—	—	—	梅津英典
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	黒瀬理恵	秋元博之	秋元博之	リウマチ外来	秋元博之
		飯尾浩平	市川奈菜	飯尾浩平	黒瀬理恵	黒瀬理恵
		市川奈菜	太田聖也	市川奈菜	一般外来は休診	飯尾浩平
	午後	—	—	—	—	休診
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	及川真亮	神村典孝	神村典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		田中加奈子	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診	湯澤映
		湯澤映	淵之上康平	田中加奈子	(一般外来休診)	松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		三國谷由貴	武田育子	—	西澤尚徳	—
		—	前田泰規	—	—	—
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今 充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>